

トヨ子&としやの 市政報告

2018年
2月号
第30号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2018年2月1日
連絡先：大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 建設環境委副委員長
子育て日本一対策委
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや 議会運営委
経済産業委
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



上石津診療所診療時間変更 「往診がなくなるのは困る」

「2018年4月から上石津診療所の診療時間を午後2時～5時に変更」

12月の文教厚生委員会で報告されました。「所長医師の定年退職による医師不足」「診療所存続のため、西美濃厚生病院に依頼し、午後の診療に来てもらうことに」との理由です。

委員からは「市民病院に依頼し医師派遣しては」「利用者視点に

立ち、サービスの縮小をすべきでない」と、質問・意見が相次ぎました。

「診療所は地域の拠点」

地域の方に話を聞くと「地域の人の多くは突然回覧が回ってきて診療時間変更を知った。困惑している。往診がなくなるのは困る。地域にとって医療機関は地域を地域たらしめる拠点。縮小の方向が、

やがては廃止になり、そして学校も統廃合と、地域の機能が失われていくことを心配している」とのことです。

日本共産党は、解決のために「地域医療の担い手不足解消」が必要と考えています。そもそもの原因は「医師が増えると医療費が膨張する」といって医師の養成数を抑制し、日本を世界でも異常な「医師不足の国」にしてきた歴代政権の失政です。医師を計画的に増員し、医療の安全・質の向上・医師の労働条件の改善をすすめます。

養老鉄道でお伊勢さん

「養老鉄道の未来をつくる会大垣」は、1月23日にはじめて「伊勢神宮初詣・日帰り臨時列車の旅」を企画しました。

大垣から桑名まで養老鉄道で、桑名から近鉄「あおぞら号」で伊勢まで。

寒波で、前日は雪が降りお伊勢さんは雪化粧でしたが、当日はお天気も回復し、久しぶりにのんびりとした旅になりました。



「1.28新春のつどい」(共産党大垣市後援会主催)

腹話術の人形に、寝ころびながら笑い転げる幼児たち。後援会員がブラスターで共産党の好きなところ紹介もあって楽しいつどいになりました。

トヨ子&としやの1月活動日誌

笹田トヨ子

【1月】

4日 党旗開き
7日 出初式
8日 成人式
10日 地域交通シンポ・議員団会議
15日 養老鉄道未来をつくる会
18日 西美濃福祉社会理事会
19日 社保協
20日 婦人会 新春発表会
23日 養老鉄道 伊勢神宮初詣
25日 発達相談
26日 生活相談 県土木事務所
27日 男女共同参画フォーラム
28日 新春のつどい
29・30日 議員研修会
31日 興文消防団 消防車引渡式

中田としや

【1月】

4日 仕事始め式、党旗開き
5日 みおミントン
7日 消防出初式、学習支援ネットワーク
8日 成人式
10日 商工会議所議員懇親会 地域交通シンポ
15日 養老鉄道未来をつくる会
16日 3000万署名アクション会議
17日 国賠同盟県女性部総会準備
20日 映画「THE思いやり2」
21日 医療生協活動者交流会
23～25日 議会運営委員会視察
26日 県土木事務所に要望
27日 共産党後援会新年会
28日 新春のつどい

お詫び

「民主おおがき」1月号の「銭湯廃止」の見出しについて、共産党が銭湯廃止を打ち出しているような誤解を与えてしまい、お詫びいたします。銭湯は地域の

人々が集まり交流する場として、老人福祉センター等と同じ公共的な役割を担っていると考えています。ですからこれ以上減らさないようにするため、何らかの対策が必要と考えています。

【大谷川河川改修】 JR橋梁架け替えについて要望

2002年の荒崎水害、その後も繰り返す浸水被害を受け、岐阜県は2014年、「今後10年程度で洗堰を解消する」とする計画を発表しました。

現在、県は大谷川・矢道川にかかるJR東海道本線の橋梁の架け替えを行うための詳細設計を業者に委託する事業を進めています。

JRの線路を約1kmに渡り動かす事業であるため、地域の方からも「これを機に地域の交通の便をよくしてほしい」と意見を頂き、荒崎地域の方と県土木事務所に要望

に行きました。

「南北の線路越えを安全に」

事業概要について説明を受けた後、要望では「矢道から長松に抜ける踏切が狭く、すれ違い時に危険を感じる」「大きいアンダーパスもよいが、線路を抜けられる箇所を西側にもほしい」「かつて、JR大垣西駅の議論があった。公共交通網の充実が求められる時代、検討しては」等、地域の声を紹介。



土木事務所の方からは、「多くの地域の方に影響する事業であり、地域の理解が重要と考えている。西側のアンダーパス設置要望については検討中。新駅建設についてはJR東海に地域の声として伝えたい。地域の協力を得てJRの架け替え工事をし、浸水被害をなくすための大谷川の河川改修を進めたい」と回答がありました。

JCPサポーター はじめました

2月1日から、共産党はJCPサポーターの登録を始めました。

「政策はいい」「ぶれない」という評価をいただきながらも、近づきたい壁を感じていらっしゃる方々に、もっと開かれた政党をめざして、多くの方の声をいただいてつくりあげた新たな取り組みです。

スマホ検索欄に「JCPサポーター」と入力すれば、仮登録画面

が現れます。パソコンの共産党ホームページのトップにも「JCP・S」の案内があります。

双方向での交流の場として、サポーターの方々からは共産党への疑問や要望をお寄せいただき、共産党からは各種の催しや時々の政策についてわかりやすくお伝えしていきます。

ご活用いただくとともに、若い方々にお勧めください。



JCPサポーターからのステートメント

政治家が難しい言葉と話していても全然わからないし、政治参加のハードルも高い、共産党は真面目な政党だし、困っている人々の見方だと思うけど、私たちの生活から遠い感じがしていました。でも社会に無関心ではいられない。諦められない。

もっとわたしたちの言葉で政治を語りたいと思っていました。だからこそJCPサポーターでは、初めて政治に参加する人たち、積極的に政治に参加する機会がなかった人たちと共に考え、悩み、行動する仕組みを作っていきたい。私たちのための制度にしていきたい。

「もっと頑張れ」と共産党を励ましなが、党だけではできないことをていしましょう。友達と政治について話すのでもいい、気が向いた時にツイートするのもいい、100円の寄付でもいい、わたしたちにできることはもっとあるはずです。

議会運営委員会視察報告

タブレット議会で働き方改革

関東に大寒波迫る中、1月23～25日に「タブレット端末の導入について」栃木県宇都宮市・埼玉県飯能市・ふじみ野市に視察に行きました。

「タブレット議会」とは、議会にiPad等を導入し、「ペーパーレス化（使用紙量削減）」「議会運営事務効率化」を目的とするもの。

導入後の効果として「出先で問

合せをもらった際、すぐに資料を見せることができる。情報公開に役立つ」「要望があった現場の写真を撮って、すぐ送れる。行政側に要望を伝えるにも話が早い」といった声が紹介されました。

タブレットは使い方

次第で強力な道具であると思います。大垣ではタブレット端末導入を契機に「議会動画のインターネット配信」など、開かれた議会を目指したいと考えています。



「年間でこれだけの資料が削減できました」と並べられたファイル